

レンタルサーバー マニュアル

(1)

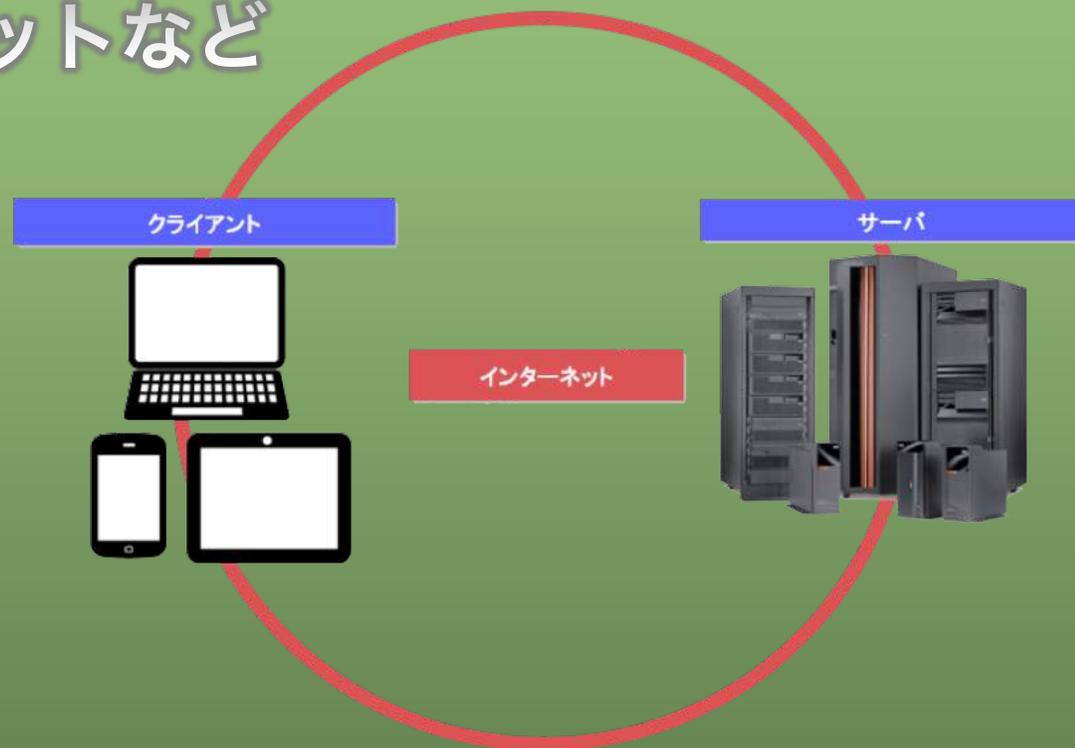
～ サーバー基礎知識編 ～

1、サーバーってなに？

サーバーとは、ホームページを表示するために必要となる情報を入れておくためのコンピューターのことです。

ちなみに、サーバーから情報を受け取る側をクライアントといいます。
(例) パソコン、スマートフォン、タブレットなど

サーバーはクライアントからのリクエストに応じて、保管しているファイル（HTMLファイル・画像ファイル・音楽ファイル・映像ファイルなど）を提供します。



2、サーバーの契約形態

サーバーにはいくつかの契約形態があります。

共用サーバー
(レンタルサーバー)

1つのサーバーを複数の人がレンタルして、共同で使うサーバー。
価格が安く、初心者でも使いやすいのが特徴。

VPS
(Virtual Private Server)

サーバーを仮想的に専有できるので、他のユーザーの影響を受けにくい。
好きなようにカスタマイズできるのが特徴。

専用サーバー

1つのサーバーを専有し、自由に使うことができます。
自分でサーバーをメンテナンスするスキルが必要。

クラウドサーバー

一人一人のユーザーに仮想サーバーが割り当てられ、
サーバーのスペック（性能）などを柔軟に拡張できるのが特徴。



それぞれの解説は次ページ

3、共用サーバーの特徴

オススメ度 ★★★★★

| | | | |
|----------|---|----|----|
| 料金 | 月額100円～ | 設定 | 簡単 |
| 他ユーザーの影響 | 受ける | | |
| 代表的サービス | さくらのレンタルサーバ、ロリポップ!、XSERVERなど | | |
| 特徴 | 1つのサーバーを複数の人がレンタルして共同で使用。 ※ 一般的に「レンタルサーバー」というと、この共用サーバーのことを指します。 | | |
| メリット | 低価格。サーバの知識がほとんど必要なく、設定が簡単なので初心者向き。 | | |
| デメリット | 他のユーザーの影響を受けやすく、利用制限が厳しく設定されている。 | | |

4、VPSの特徴

オススメ度 ★★☆☆☆

| | | | |
|----------|--|----|-----|
| 料金 | 月額600円～ | 設定 | 要設定 |
| 他ユーザーの影響 | 受けない | | |
| 代表的サービス | Servers@Man VPS、さくらのVPS、ABLENET VPSなど | | |
| 特徴 | 仮想サーバの管理者権限を与えられるので自由にカスタマイズできる。 | | |
| メリット | サーバ毎にCPUやメモリなどを割り当てられるので、他のユーザの影響を受けにくい。 | | |
| デメリット | サーバ構築・サーバーメンテナンスのスキルが必要なため、難易度が高い。 | | |

5、専用サーバーの特徴

オススメ度 ★★☆☆☆

| | | | |
|----------|--|----|-----|
| 料金 | 月額8,000円～ | 設定 | 要設定 |
| 他ユーザーの影響 | 受けない | | |
| 代表的サービス | ファーストサーバ、GMOクラウド 専用サーバー、カゴヤ・ジャパンなど | | |
| 特徴 | 1つのサーバーを専有し、自由に使うことが可能。 | | |
| メリット | 自由度が高く、カスタマイズも可能。他のユーザーの影響を受けない。 | | |
| デメリット | 高価格。サーバ構築・サーバーメンテナンスのスキルが必要なため、難易度が高い。 | | |

6、クラウドサーバーの特徴

オススメ度 ★☆☆☆☆

| | | | |
|----------|--|----|-----|
| 料金 | 月額3,000円～100,000円以上 | 設定 | 要設定 |
| 他ユーザーの影響 | 受けない | | |
| 代表的サービス | Amazon Web Services、Microsoft Azure、Nifty Cloudなど | | |
| 特徴 | 1つの仮想サーバーを借りるのではなく、サーバーのスペックなどを柔軟に拡張可能 | | |
| メリット | 月額課金と従量課金があり、時間単位でも使用可能なためコストを抑えることができる。アクセス集中によって高い負荷がかかった場合でも、随時性能を高めることも可能。 | | |
| デメリット | サーバ構築・サーバーメンテナンスのスキルが必要。 アクセス数などによってVPSや専用サーバよりもコストがかかる可能性がある。 | | |

7、サーバーの契約形態まとめ

前項までで説明したように、サーバーを借りるにも様々な種類の契約形態があることがわかりました。

あなたがすでにサーバーに関する高い知識を持っていて、相当ハイスペックなサーバーが必要ならVPSやクラウドサーバーを検討するのもいいですが、ほとんどの方は、共用サーバーで問題ありません。

共用サーバーの契約方法や設定方法は別のページで説明します。

まずは簡単に管理できる「共用サーバー」から始めよう！

8、サーバーの種類・役割

サーバーには契約形態だけでなく、役割別に種類が分かれていて、ホームページを運営していくには、下記のすべてが必要になります。

ただし、すべてを覚える必要はなく、共用サーバーならこれらすべてが揃っていて、難しい設定をする必要はありません。

| サーバーの種類 | 役割 |
|------------|--|
| Webサーバー | ホームページのデータを格納・表示するのに必須のサーバーです。 |
| メールサーバー | メールの送受信に必要なサーバーです。受信サーバーと送信サーバーに分かれています。 |
| データベースサーバー | 通販サイトの商品一覧のような、登録した情報が整理され格納されているサーバーです。 |
| FTPサーバー | Webサーバー等にファイルの送受信をしてくれるサーバーです。 |
| DNSサーバー | IPアドレスと呼ばれる数字の羅列を、ユーザーが識別しやすいようにドメインに変換するサーバー。 |
| SSHサーバー | パスワードや暗証番号のような重要な個人情報などを暗号化してくれるサーバーです。 |

サーバーに関する基礎知識は以上です。

次はいよいよサーバーの申し込み手続きに入ります。

レンタルサーバーマニュアル (2)

サーバー申し込み編をよく見て進めてくださいね！